

第43回三次きんさい祭り お礼

“きりり晴やか 心も踊る きんさい三次”をテーマに、第43回三次きんさい祭りを7月28日に開催いたしました。

今年は、7月豪雨により西日本一帯に甚大な被害をもたらし、多くの犠牲者、被害がありました。本市においては、人的被害はありませんでしたが、家屋、事務所の浸水被害や土砂崩れ、農地への被害など多くの被害があり、現在も復旧に向け総力を挙げて取り組んでいるところです。被災された皆様に、心から哀悼の意を表するとともにお見舞い申し上げます。

このような状況の中で、今年は、三次から元気を発信していこう！困難に立ち向かい、早期の復旧、復興に前に向かって進んで行こう！という熱いメッセージを被災された方へ届ける祭として開催しました。

今では、三次の夏の一大イベントであるこの祭りは、昭和47年に三次市一帯を襲った水害からの復興を願い、昭和51年から開催された歴史があります。今回は、みんなが一丸となり、心ひとつに三次の元気を発信し、復興へと進んで行くというメッセージを発信できたと思っております。

当日は、琉球国祭り太鼓含む50団体3,000人を超える市民大パレードをはじめ、きんさいステージでは、三次出身の佐々木リョウさんの弾き語りライブや酒河小学校の酒河童太鼓、君田町の茂田神楽、そして今年の“物産交流広場“には中四国圏内から沿線4市1町より出店いただき、全28団体の出店があり“広域交流のきんさい祭り“の顔として大勢の人たちで賑いました。

市内外から3万5千人を超える人出をいただき、成功裏に終了することができました。

これも一重に、開催に向けご尽力いただきました多くの関係者の皆様のご支援ご協力に対して、改めて感謝いたします。また、第43回三次きんさい祭の開催に際しまして、ご協賛のご支援をいただきました多くの皆様に心から感謝申し上げます。

三次きんさい祭振興会
会長 増田 和 俊
三次きんさい祭企画実施本部
部長 藤 田 恒 造